平成30年度

小平市民活動支援センターあすぴあ 事業報告

概要版

各イベント横の数字は参加者数です。

NPO 法人小平市民活動ネットワークがあすぴあの指定管理者になって９年目（指定管理３期目の初年度）の今年度は、センター長が交代し、新しく常勤職員１名とパート職員１名を加え、日勤５名、夜勤２名、アルバイト１名の職員体制でスタートしました。

登録団体数は、４月 117 団体でスタートし、年度途中に増減がありましたが、年度末も 117 団体で終わりました。団体の課題として「会員の高齢化」が顕著に現れるようになりました。

平成 29 年度から検討を始めた「市民活動の裾野の拡大事業」が〈こだいら人財の森〉として３月からスタートしました。これに伴い、ホームページをリニューアルし、また事業のキックオフ・イベントとして３月に「地域デビューパーティー」を行い、出展団体と来場者合わせて 400 名を上回る参加がありました。今後は地道に周知活動を続けつつ、登録およびマッチングを１件１件丁寧に対応し、少しずつ実績と信頼を積み重ねていく必要があります。

社会の課題がますます複雑化しており、ひとつの策で解決するほど単純ではなくなっています。あすぴあが、“情報の交差点”として人、団体、情報、行政、地域を柔軟な発想でつないでいくことが今後ますます求められていくと思います。

★市民参加で成り立つあすぴあ事業★

イベント部会	パワーアップ講座や交流サロンの企画・実施
広報部会	「あすぴあ通信」の取材・編集・発行
フェスタ部会	元気村まつりの運営

あすぴあのキャッチコピー

NPONPONPONPONPONPONPONPONPONPO
しる みる ん！やってみようしみんかつどう
NPONPONPONPONPONPONPONPONPONPO

●あすぴあ通信

毎号 4,000 部隔月発行、市内公共施設等に配架。

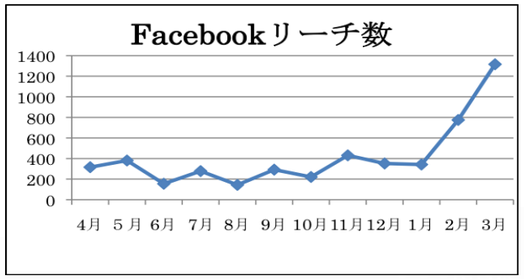
あすぴあ通信 60 号

●市民活動関連図書コーナー

あすぴあ通信 61 号

●広報活動 ～あすぴあの情報を精力的に発信～

①ホームページのタイムリーな更新
②ホームページに連動した Facebook の更新
③月１回のメールマガジンの発行
講座参加者のアンケート結果にもその効果が現れています。

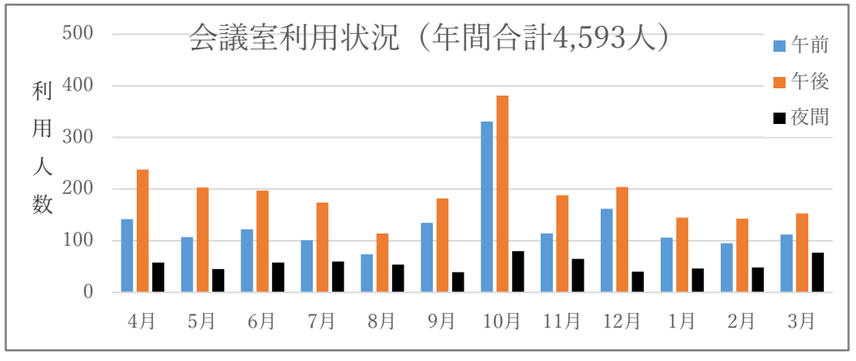


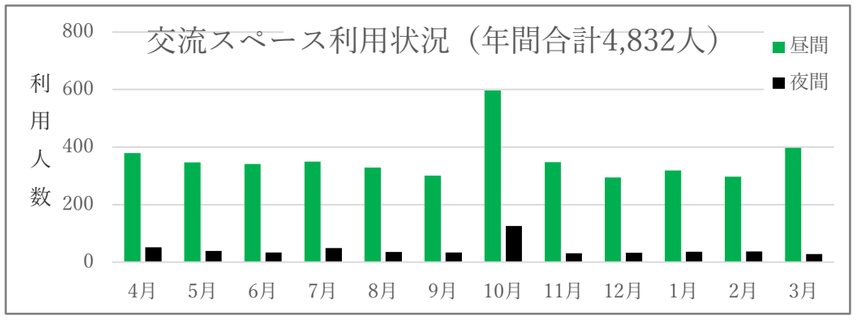
交流サロン「小平市のこれからの協働について考える」 32人

パワーアップ講座（2回連続）「こんな時どうする？市民活動と法律」 41人

登録団体数 117

4月 5月 6月 7月 8月 9月





市民活動の裾野の拡大事業 団体ニーズ調査 回答 52 団体

重宝がられるドリンクコーナー（利用者アンケートから）

運営サポート会議

運営サポート会議
センターの管理・運営を公平適正に行うために、公募市民、登録団体、有識者等で構成される会議を設け、幅広く意見を聴取。

市民活動の裾野の拡大事業 調査報告会＆意見交換会 17 人

●施設見学の受け入れ等

①・仲町公民館の子育て支援講座受講生
　・東村山市市民協働課職員
②大学生のインターンシップ

●地域連携活動等

- 自治会地域懇談会および学園西町地区地域連絡会に参加
- AKVS(地域福祉活動および市民活動の中間支援に関する情報連絡会）に参加
- 中央公民館事業企画委員会に参加
- 「忘れない 3.11 展」実行委員会に参加
- 津田塾大学インクルーシブ教育支援室と交流
- 市民協働主催事業への協力
- 市外の支援センターとの情報交換・交流の実施

あすぴあ通信 62 号

市民活動なんでも相談

●相談・コーディネート業務

- 問合せ・相談・支援件数は 44 件。今年度の特徴は、2 年前の NPO 法の一部改正に伴い、貸借対照表の公告が必要になったことから、対応方法の相談が数件。
- 明治製菓の CSR 活動として、子ども関係の活動（特定の条件付き）をしている団体に同社のお菓子を寄贈するという情報を入手。該当する市内の団体に通知、希望した４団体を申請した結果、12 月初旬に全団体に寄贈。